

日時 平成 26 年 8 月 4 日(月)  
17:00 ~ 18:00  
場所 熱海温泉ニューフジヤホテル  
22 名参加

超臨界流体部会 臨時幹事会  
青字が議事録

審議事項

1. 秋季大会 シンポジウム 学生賞について  
川波幹事より方針の説明があり、資料に提示した方針で承認された。
2. 「超臨界流体基礎セミナー」企画案  
大島副部長より企画の説明があり、資料に提示した企画が承認された。
3. 第 48 回化学工学の進歩講習会 躍進する超臨界流体技術 共催依頼  
後藤監事より会議内容の説明があり、共催が承認された。

報告事項

1. 協賛事業 SCF 研究会報告  
堀川幹事より SCF 研究会の報告と次回以降のアナウンスがあった。

お知らせ

1. 行事、関連行事  
後藤監事より ICSST 14 の発表締切が 8/15 まで延期されたことが報告された。

阿尻部会長から部会 CT 賞の申請について、40 歳以下の若手を中心とすること、若手のモチベーションを上げるために活用される場であるべきとの説明があった。

## 審議事項

### 1. 秋季大会 シンポジウム 秋季大会 シンポジウム 学生賞

2014年7月28日

化学工学会第46回秋季大会オーガナイザー  
川波 肇, 中村 真, 松田 弘幸, 秋月 信

#### 1) 招待講演者について

第46回秋季大会は、超臨界流体部会単独のセッションと、基礎物性部会との共同開催のセッションの2件を担当。これまでの超臨界流体のセッションとは異なり、新しい話をしてくれそうな方、あるいは新規会員増強も含めて過去に化学工学会での発表実績が無い方で、教授クラスの人を選択。

超臨界流体部会のセッションでは、

1. 半田明弘 様 (キューピー株式会社)
2. 小廣和哉 様 (高知工科大学)
3. David C. Grills 様 (Brookhaven National Laboratory)

共同開催のセッションでは、

1. 大村 亮 様 (慶応大学)

4名とも化学工学非会員。

#### 2) 超臨界流体部会 第46回化学工学会秋季大会 学生賞審査基準

1. 審査の方法：審査項目、審査方法に関しては、第45回化学工学会秋季大会時の方法を踏襲する。

2. 審査員は、下記に示した通り。

3. 超臨界流体部会の表彰式は、2日目。共同開催でのセッションの表彰式は1日目。表彰式は、セッション終了後に執り行う。

4. 審査は2日間となることから、受賞者の部会への招待は無し。

#### ..... 第45回化学工学会秋季大会 学生賞審査基準 .....

##### 審査項目

審査の対象と内容：

主眼：審査は、研究内容ではなく、「プレゼンテーション技術」ならびに「発表者の研究に対する理解度と貢献度」の評価で行う。

学生賞の審査対象と内容・配点は、次のとおりとする。

##### 1) プレゼンテーション技術(9点) 9段階

説明は論理的に構成され、聴衆の理解を助けるようになされているか。

スライドは、説明を適切に補助し、聴衆の理解を助けるようになされているか。

##### 2) 発表者の研究に対する理解度と貢献度(18点) 18段階

本審査項目の評価は、発表だけでなく質疑応答の際の質問への回答も参考にする。

2-1) 発表者が自分の研究目的を理解し、その目的に対し発表者の考えに基づいた研究実

施がされているか。

2-2) 結果の解釈と考察は合理的か。

#### 審査方法

- a) 審査員は、オーガナイザーが協議の上指名する。
- b) 学生賞にエントリーした学生以外が登壇した場合は、審査対象としない。
- c) 1 件の発表は、原則 3 名の審査員で審査するものとする。
- d) 「審査項目」の得点を合計し、審査員の人数で割ることで、「審査員 1 人あたりの平均得点」を計算する。  
「審査員 1 人あたりの平均得点」が多い順に所定人数総発表件数の上位 20%程度の受賞者を選ぶ。
- e) 小数点以下までの同点者が出た場合には、部会長およびオーガナイザーが合議し、受賞者を選ぶものとする。この際の基準として、「2) 発表者の研究に対する理解度と貢献度」の点数が高い者を上位とする。この項目でも同点の場合は、「2-1) の発表者が自分の研究目的を理解し、その目的に対し発表者の考えに基づいた研究実施がされているか。」の点数が高い者を上位とする。

以上

1日目

講演番号	開始時刻	受理番号	講演題目	発表者	座長(兼審査員)	学生審査委員(座長除く)	H25審査員
T103	9:40	292	高分子/二酸化炭素/シリコンアルコキシド三成分系の発泡	(東理大)○(学)山地 雄平・(正)嶋田 友一郎・(正)小林 大祐・(正)庄野 厚・(正)大竹 勝人・(産総研)(正)依田 智・(正)古屋 武・(正)竹林 良浩・(昭和樹脂)大川 康夫	相澤 崇史(産総研コンパクト)	佐古 猛(静大院工) Quitain Armando(熊大パルスパワー研)	松山 清, 石坂 孝之, 長田光正
T104	10:00	544	高圧窒素を用いたポリマーの発泡構造の検討	(広大院工)○(学)上田 祐実・(学)菅長 宏之・孫 穎・(正)春木 将司・(正)木原 伸一・(正)滝島 繁樹			
T105	10:20	242	超臨界二酸化炭素を用いた導電性綿繊維の作製	(九大工)○(学)鯨島 翔・(丸三)(正)片山 滋雄・(九大工)(正)米澤 節子・(正)岩井 芳夫			
T106	10:40	503	超臨界二酸化炭素を用いるナノ粒子の金属薄膜コーティング技術の開発	(静大院工)○(学)山本 大梧・(正)岡島 いつみ・(正)佐古 猛	中村 真(ダイダ)	木原 伸一(広大院工) 田口 実(中央大理工)	
T107	11:00	955	マイクロ空間内超臨界食溶媒晶析によるテオフィリン粒子創製に対する晶析器形状の影響	(信州大院理工)○(学)廣田 匠・(信州大工)中村 吏志・(正)内田 博久			
T113-T114	13:00	443	[招待講演]超臨界二酸化炭素抽出法によるコレステロール除去食品の開発	(キューピー研究開発本部)○半田明弘		-	
T115	13:40	724	新規超臨界乾燥・加熱法による酸化チタン光触媒の合成	(八戸高専)○(学)奈良 光展・長谷川 章・(正)本間 哲雄			
T116	14:00	523	超臨界二酸化炭素を利用した微細構造中へのフッ素系ポリイミド成膜に関する基礎的検討	(広大院工)○(学)小田 明日香・(学)長谷川 優美・(正)春木 将司・(正)木原 伸一・(正)滝島 繁樹	依田 智(産総研ナノシステム)	岩井 芳夫(九大工) 青木 宣明(東北大WPI)	
T117	14:20	571	超臨界二酸化炭素中での高撥水性ポリマー微粒子の合成	(静大院工)○(学)五明 幹大・(正)岡島 いつみ・(正)佐古 猛			
T118	14:40	885	超臨界二酸化炭素中でのリモネンの酸化反応	(熊大院自然)○(学)青松 美樹・(正)Quitain Armando・(熊大パルスパワー研)(正)佐々木 満・(熊大院自然/(一財)マルボシ酢・アスキー食技研)岩井 秀雄・((一財)マルボシ酢・アスキー食技研)田中 雅裕・星野 宗広・(熊大院自然/(一財)マルボシ酢・アスキー食技研)松原 輝明			
T119	15:00	203	乳素材含有機能性成分の分取に向けた超臨界CO <sub>2</sub> 抽出法の検討	(東北大院工)○(学)片岡 駿友・(正)大田 昌樹・(正)佐藤 善之・(正)猪股 宏・(東北薬大)井ノ口 仁一・郷 慎司	藤井 達也(産総研コンパクト)	後藤 元信(名大院工) 春木 将司(広大院工)	児玉大輔, 孔 昌一, 下山裕介
T120	15:20	762	キレート剤を添加した超臨界二酸化炭素によるセシウム抽出・除去	(静大院工)○(学)青木 良介・(正)岡島 いつみ・(正)佐古 猛			
T121	15:40	858	超臨界クロマトグラフィーを用いたtrans-スチルベンオキシドの光学異性体分離	(中央大理工)○(学)杉原 智人・(正)田口 実・(正)船造 俊孝			
T122	16:00	184	金属酸化物ナノ粒子の流通式水熱合成における速度論的解析	(東北大院工)○(学)佐藤 綾人・(東北大WPI)(正)青木 宣明・(東北大NICHe)(正)相田 努・(東北大WPI)(正)北條 大介・(東北大多元研)(正)高見 誠一・(東北大WPI)(正)阿尻 雅文	辻 智也(日本大学)		
T123	16:20	508	ポリ乳酸-シリコンアルコキシド-CO <sub>2</sub> 三成分系の発泡押出によるナノコンポジット断熱材の製造	(産総研ナノシステム)○(正)依田 智・大原 基広・(プラステコ)林 龍太郎・豊田 耕平・山本 正樹・(産総研健康工学)中山 敦好			
T124	16:40	961	超臨界溶体急速膨張法によるテオフィリンのナノ粒子創製に対する固体共溶媒効果の有効性	(信州大工)○(正)内田 博久・(信州大院理工)(学)西島 正道・(学)佐野 恭平・(東工大院理工)(学)坂部 淳一・(正)下山 裕介			

## 2日目

講演番号	開始時刻	受理番号	講演題目	発表者	座長(兼審査員)	学生賞審査員(座長除く)	H25審査員
T204	10:00	996	高リグニン含有木質バイオマスの水熱可溶性に関する速度論的検討	(東北大院環) ○(学)金栗 幸宏・(東北大院工) (正)渡邊賢・(アイテック) 宮本 典彦・(東北大院工) (正)猪股 宏・(東北大院環) (正)スミス リチャード	長田 光正(信州大繊維)	大島 義人(東大院新領域) 岡島 いづみ(静大院工)	神田英輝, 川尻 聡, 後藤元信
T205	10:20	733	希薄酸を用いたセルロースの解重合における可溶性速度	(中央大理工) ○(学)平島 健吾・竹村 航・(正)田口 実・(正)船造 俊孝			
T206	10:40	703	高温高压水中におけるラフィノース変換反応の解析	(八戸高専) ○(学)森 忠明・(正)本間 哲雄			
T207	11:00	525	高压過熱水蒸気を用いた海洋バイオマスのガス化	(静大院工) ○(学)林 京佑・(正)岡島 いづみ・(正)佐古 猛	本間 哲雄(八戸高専)	船造 俊孝(中央大理工) 佐藤 敏幸(日大生産工)	神田英輝, 川尻 聡, 後藤元信
T208	11:20	585	アンモニアの超臨界水酸化反応におけるアルコール・酸素多段供給の検討	(東大院新領域) ○(学)下田 絵里子・(産総研コンパクト) (正)藤井 達也・(東大環安本) (正)林 瑠美子・(東大院新領域) (正)大島 義人			
T209	11:40	991	木質由来炭化物に対する水熱処理の影響	(東北大院環) ○(学)竹内 壘・(東北大院工) (正)渡邊 賢・(正)猪股 宏・(東北大院環) (正)スミス リチャード・(仙台環境) 高谷 敏彦			
T213-T214	13:00	440	[招待講演]超臨界アルコールを用いる球状多孔質金属酸化物ナノ粒子のワンポット合成	(高知工大環境理工学群) ○小廣 和哉	秋月 信(東大院新領域)		
T215	13:40	669	超臨界・亜臨界メタノールによるシリコンゴムのケミカルリサイクル	(静大院工) ○(学)三井 康平・(正)岡島 いづみ・(正)佐古 猛			
T216	14:00	731	超臨界アルコールを反応場としたポリアセンキノン還元反応	(日大生産工) ○(学)松本 翔・中山 宗・(正)佐藤 敏幸・(正)岡田 昌樹・(正)日秋 俊彦・(日大理工) 岩村 秀	大田 昌樹(東北大院工)	猪股 宏(東北大院工) 渡邊 賢(東北大院工)	
T217	14:20	526	超臨界・亜臨界流体を用いる炭素繊維強化プラスチックのリサイクル技術の研究開発	(静大院工) ○(学)中村 瑞基・(正)岡島 いづみ・(正)佐古 猛			
T218	14:40	609	高温高压エタノールを用いた酸化グラフェンの還元	(静大院工) ○(学)白鳥 祐基・(正)孔 昌一・(正)岩田 太・(正)佐古 猛			
T219	15:00	947	液化ジメチルエーテルによる微細藻類の乾燥が不要な油脂と有価物の抽出法の検討	(名大院工/JSTさきがけ) ○(正)神田 英輝・(名大院工) (学)小川 真輝・(学)加茂 佑一・栗田 裕子・(ナレーズワン大) ブンノーン パナボン・(スラバヤ工大) (海)マームダーシディ・(名大院工) (海)ディオノ ワーユ・(正)後藤 元信	佐藤 善之(東北大院工)		
T220	15:20	643	超臨界プロパンによる藻類からの精製油抽出プロセス	(名大院工) ○(正)町田 洋・(正)堀添 浩俊			
T221	15:40	365	超臨界二酸化炭素含浸法を用いた多孔性配位高分子-薬物複合体の開発	(久留米高専) ○(正)松山 清・横溝 美咲・林 信勝・奥山 哲也			
T222	16:00	168	Hydrogenolysis/hydrogenation of diphenyl ether in supercritical carbon dioxide/water medium: A mechanistic considerations	(AIST, Tohoku) ○(正)Chatterjee Maya・(正)Ishizaka Takayuki・(正)Kawanami Hajime	佐々木 満(熊本大院工)		
T223	16:20	648	Supercritical-Fluid Synthesis of Olivine-type Nanocrystals and Their Cathode Performance	(Tohoku U.) ○(海)Truong Quangduc・(正)Devaraju M. K.・(正)Honma Itaru			
T224	16:40	478	超臨界水中でのアルミニウム系粒子の表面修飾による分散性の向上と粒子形態の変化	(産総研コンパクト) ○(正)藤井 達也・(正)川崎 慎一朗・(東北大NICHe) (正)鈴木 明・(東北大WPI) (正)阿尻 雅文			
T225	17:00		学生賞表彰式				

## 3日目

講演番号	開始時刻	受理番号	講演題目	発表者	座長(兼審査員)	学生賞審査員(座長除く)	H25審査員
T304	10:00	435	高温高圧水を用いた木質バイオマスからのHMF合成	(産総研コンパクト) ○(正)川波 肇・小川 佳代子・(正)石坂 孝之	秋月 信(東大院新領域)		
T305	10:20	769	イカ中骨の高温高圧水処理によるβキチン調製	(信州大繊維) ○(正)長田 光正・(丸辰カマスイ) 古閑 健一・(一関高専) 古川 滉人・中川 裕子・(正)渡邊 崇・(正)二階堂 満・(正)戸谷 一英			
T306	10:40	494	高温高圧水中のアミド系医薬品の分解反応に対する固体触媒の影響	(東大院新領域) ○(正)秋月 信・(正)大島 義人	川波 肇(産総研コンパクト)	-	
T307	11:00	143	亜臨界水中のフェントン型反応による有機塩素化合物の酸化分解	(阪市大院工) ○(正)米谷 紀嗣・(学)高見 玲奈・南谷 直貴・中尾 恭平・本田 弘樹			
T308-T309	11:20	444	Transient Spectroscopic Investigation of Intermediates Involved in CO <sub>2</sub> Reduction under Supercritical CO <sub>2</sub> Conditions	(Brookhaven National Laboratory) ○David C. Grills			

## 1日目

講演番号	開始時刻	受理番号	講演題目	発表者	座長(兼審査員)	学生賞審査員(座長除く)	H25審査員
U104	10:00	606	超臨界及び液体溶媒中における金属錯体の拡散係数	(静大工) ○(学)薬丸 佳樹・(正)孔 昌一・(中央大理工) (正)船造 俊孝	町田 洋(名古屋大工)	保科 貴亮(日大生産工) 金久 保 光央(産総研)	
U105	10:20	574	超臨界二酸化炭素の圧力誘起法を用いたpH応答性高分子マイクロコーティング	(福岡大工) ○(学)伊藤 祥太・(正)三島 健司・(正)原田 拓典・入江 圭一・川上 亮・(福岡大薬) 三島 健一	町田 洋(名古屋大工)		
U106	10:40	276	二酸化炭素/シリコンアルコキシド/ポリマー系の相平衡	(東理大) ○(学)松川 博亮・(正)嶋田 友一郎・(正)小林 大祐・(正)庄野 厚・(正)大竹 勝人・(産総研) (正)依田 智・(正)古屋 武・(正)竹林 良浩・(昭和樹脂) 大川 康夫	滝高 繁樹(広島大工)	船造 俊孝(中央大理工) 広浜 誠也(インベンシプロセシステムズ)	
U107	11:00	534	有機物の融点降下に及ぼす固体助溶剤添加効果の解明	(東理大院) ○(学)中村 祐輝・小林 正範・(正)嶋田 友一郎・(正)小林 大祐・(正)庄野 厚・(正)大竹 勝人	滝高 繁樹(広島大工)		
U108-U109	11:20	442	[招待講演] 二酸化炭素分離に適したクラスレートハイドレートの探索と物性測定	(慶應大理工) ○大村 亮	松田 弘幸(日大理工)	-	
U115	13:40	581	高圧二酸化炭素による医薬品添加剤のガラス転移点降下の測定および相関と推算	(東理大院) ○(学)田中 健太・小林 正範・(正)嶋田 友一郎・(正)小林 大祐・(正)庄野 厚・(正)大竹 勝人	孔 昌一(静岡大工)	船造 俊孝(中央大理工) 広浜 誠也(インベンシプロセシステムズ)	
U116	14:00	975	超臨界二酸化炭素に対するテオフィリンの溶解度に対する結晶多形の影響	(信州大院理工) ○(学)佐野 恭平・(学)西島 正道・(東大院理工) (学)坂部 淳一・(正)下山 裕介・(信州大工) (正)内田 博久	孔 昌一(静岡大工)		
U117	14:20	44	超臨界CO <sub>2</sub> 雰囲気下におけるVOC多成分系吸着平衡の測定及び推算モデルの開発	(東北大院工) ○(正)宇敷 育男・(正)大田 昌樹・(正)佐藤 善之・(正)猪股 宏	孔 昌一(静岡大工)	-	
U119	15:00		学生賞表彰式				

## 2. 「超臨界流体基礎セミナー」企画案

大学や企業において超臨界研究の経験が浅い若手研究者や、新たに超臨界の研究を始めることを考えている技術者向けに、「超臨界流体入門」(丸善)をテキストとして、超臨界流体技術の基礎についてわかりやすく解説するセミナーを開催する。超臨界流体の特徴や物性、代表的な応用技術(分離・抽出、水熱合成、バイオマス利用)、装置設計や実験法、安全などについて、各分野で活躍する専門家(テキスト執筆者が中心)が解説する。

開催日時 : 平成 27 年 1 月 13 日(火) 午前 10 時～午後 5 時

場所 : 東京大学山上会館 大会議室

内容と講演者候補(各講演は 40 分程度)

### I. 物性

代表的な超臨界流体の物性の特徴、状態方程式、物性データの利用法とその推算法。  
(混合物についても含む)

超臨界流体の特徴 … 猪股先生

物性の実測や推算 … 児玉先生

### II. 代表的な応用技術

超臨界の物性を利用するという技術の一例として、「なぜ超臨界(高温高圧水)か」という視点を入れる。

分離・抽出(二酸化炭素中心だが、それ以外も含む)… 後藤先生

超臨界水熱合成 … 阿尻先生

バイオマス利用 … 渡邊先生

### III. 実験方法、装置設計

二酸化炭素と水を対象に、材料選定(反応器、シール材)や送液方法といった、実験を行う上での注意点やその実際について。マイクロ混合器のような装置設計のトピックスも含める。 … 川崎先生

### IV. 安全

法律上注意すべき点や典型的な事故事例について … 大島

セミナー終了後、出席者で簡単な懇親会を予定

## 3. 第 48 回化学工学の進歩講習会 躍進する超臨界流体技術 共催依頼

主催:公益社団法人 化学工学会東海支部

共催(予定):化学工学会超臨界流体部会、繊維学会超臨界流体研究委員会

協賛(予定):日本高圧力学会、分離技術会、日本食品工学会、日本食品科学工学会、化学工学会分離プロセス部会、中部科学技術センター、廃棄物資源循環学会、粉体工学会

日時:平成 26 年 11 月 28 日(金) 10 時 15 分～18 時 30 分

場所:名城大学名古屋駅サテライト(名古屋市中村区名駅 3-26-8 KDX 名古屋駅前ビル 13 階)

<http://www.meijo-u.ac.jp/campus/shisetsu/sate.html>

交通:名古屋駅 ユニモール地下街 番出口を出てすぐ

---

日本での超臨界流体の研究開発が始まって30年ほど過ぎ、抽出溶媒としての利用、反応場としての利用、ナノ構造体の調製場などとして超臨界流体が注目されてきた。様々な分野の工業プロセス

スが建設され、近年のアジア諸国での実用化は目を見張るものがある。また、より高圧なプロセスの開発、流体の多様化、新規な材料調製プロセスの開発など、超臨界流体プロセスの進展が目覚ましい。本講習会では、今後躍進が見込まれる新規なプロセスを中心に超臨界流体技術について展望する。

#### プログラム

1. 超臨界・亜臨界流体抽出技術の進展(10:15～11:05)  
名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻教授 後藤 元信 氏
2. 亜臨界 DME 抽出技術(11:05～11:55)  
名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻助教 神田 英輝 氏
3. 超臨界炭化水素プロセス(11:55～12:05)  
名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻教授 堀添 浩俊 氏

- 昼休み -

4. 超臨界・亜臨界流体資源循環プロセス (13:10～14:00)  
静岡大学大学院工学研究科化学バイオ工学専攻教授 佐古 猛 氏
5. 微粒子化 (14:00～14:50)  
信州大学工学部物質工学科准教授 内田 博久 氏
6. 超臨界めっき (14:50～15:40)  
京都大学大学院工学研究科化学工学専攻教授 大嶋 正裕 氏

- 休憩 -

7. 超臨界染色 (15:50～16:40)  
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科准教授 奥林 里子 氏
8. 超臨界塗装 (16:40～17:30)  
産業技術総合研究所コンパクト化学システム研究センター主任研究員 川崎 慎一郎 氏
9. 実用化の課題 (17:30～18:20)  
エスシーエフテクノリンク代表 福里 隆一 氏

**定 員** 100名 (定員を超えた場合にはお断りすることがあります)

**テ キ ス ト** 『躍進する超臨界流体技術(仮題)』コロナ社

**参 加 費** (テキスト代・消費税を含む)

化学工学会正会員 25,000 円, 化学工学会法人会員社員/共催・協賛団体  
(個人・法人)会員 30,000 円, 化学工学会学生会員 5,000 円, 会員外 40,000 円

**申 込 方 法** 下記ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込み下さい。

<http://www.c-goudou.org/scej-tokai/s47.htm>

後日, 参加証をお送りいたします。参加証は当日ご持参下さい。

**送 金 方 法** 現金書留, 銀行振込 または 郵便振替(ゆうちょ銀行)

銀行振込 みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No. 1055521

郵便振替 名古屋 00880-7-5640

「公益社団法人化学工学会東海支部」

**問 合 せ 先** 〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7F

化学工学会東海支部 TEL. 052-231-3070 FAX. 052-204-1469



## 報告事項

1. SFC研究会報告 堀川様

## お知らせ

第46回秋季大会

日時 9月17日(木)–19日(金)

場所 九州大学 伊都キャンパス

第27回超臨界流体部会幹事会 12:00～13:00 九州大学 伊都キャンパス内

第27回超臨界流体部会集会 19:00～21:00 ホテルモントレラ・スール福岡

第80年会

日時平成 27 年 3 月 19–21 日

場所 芝浦工業大学

## 関連行事

第 3 回高分子学会グリーンケミストリー研究会シンポジウム

日時:平成 26 年 8 月 8 日 11:00–17:10 / 懇親会 17:30～19:00

場所:日本大学理工学部駿河台校舎 8 号館(予定)(千代田区神田駿河台 1-8-14)

<https://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=940>

The 4th International Symposium on Aqua Science and Water Resources (ISASWR2014)

日時:2014 年 8 月 14–16 日 場所:Taiyuan, China

<http://isaswr2014.sxu.edu.cn/CallForPapers.aspx>

分離技術会第 42 回夏季研究討論会

日時:平成 26 年 8 月 22 23 日 場所:四季倶楽部テルマーレ湯河原

<http://www.sspej.gr.jp/topics/20131012.html>

SFC2014 International Conference on Packed Column SFC

日時:2014 年 10 月 8–10 日 場所: Basel Switzerland

<http://www.greenchemistrygroup.org/>

7th Green Solvents Conference

日時:2014 年 10 月 19–22 日 場所:/Dresden/Germany

<http://events.dechema.de/events/en/Events/7th+Green+Solvents+Conference.html>

The 4th International Solvothermal and Hydrothermal Association Conference (ISHA2014)

日時 2014 年 10 月 26–29 日 場所:/Bordeaux France

<http://isha2014.univ-bordeaux.fr>

(会議の前 10 月 21–25 日にスペインで Screen School も開催 , <http://screen2014.u-bordeaux.fr/>)

10th International Conference on Separation Science and Technology (ICSST 14)

日時:2014年10月30日–11月1日

場所:Nara Prefectural New Public Hall, Nara, Japan

発表申込締切: 7月31日

<http://www.sspej.gr.jp/events/meeting.html>

2014 AIChE Annual Meeting,

日時:2014年11月16–21日 場所: Atlanta Marriott and Hilton Atlanta

Call for Abstract : Monday, May 12, 2014

<https://aiche.confex.com/aiche/2014/cfp.cgi>

第 55 回高圧討論会

日時:平成 26 年 11 月 22-24 日

場所:徳島大学常三島(じょうさんじま)キャンパス(徳島市南常三島町 2-1)

<http://www.highpressure.jp/new/55forum/>